

アンケート調査集計結果（概要）

令和2年10月

第6期美里町障害福祉計画策定に関するアンケート調査概要

1 調査目的

町の障害福祉サービス及び相談支援の提供体制の確保に関する第6期美里町障害福祉計画、第2期障害児福祉計画を策定するため、その基礎資料として子どもを含む障害のある人の生活の実態や意見・要望を把握する。

2 調査の対象者

- ・障害福祉サービス利用者
- ・本町に居住し、若しくは本町を援護の実施主体として他自治体の障害児者等福祉施設へ入所している障害児者（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者）

3 調査の方法

郵送配布・回収（無記名）

4 調査の実施時期

令和2年8月

5 回収数（率）

| 対象者数 | 返送数 | 回収率（%） |
|------|-----|--------|
| 300 | 169 | 56.33 |

6 調査の項目

- ・アンケートの回答者
- ・対象者の基礎的事項（性別、年齢、世帯状況等）
- ・対象者の障害の状況（手帳種別・等級、障害支援区分認定の有無、要介護認定の有無等）
- ・日常生活について（支援の要否、介助者等の状況等）
- ・相談・情報提供について（困り事、必要とする情報等）
- ・障害福祉サービスについて（障害福祉サービス等の利用状況等）
- ・外出について（外出目的別の外出頻度等）
- ・通園・通学について（通学状況、学校での困り事、希望する勉強の形式、進路希望等）
- ・仕事について（就労状況、就労形態等）
- ・権利擁護について（成年後見制度の周知状況、利用状況、今後の利用予定等）
- ・将来的な希望等について（今後の生活希望、介護・介助の希望、就労形態の希望等）
- ・障害者施策への要望について（特に重視する事業について）
- ・自由記載

7 集計方法に関する注意点

- ・アンケートは回答しやすいものとするため、答えにくい設問は無回答でも良いこととした。
- ・設問ごとの有効回答数は回答数から無回答数を差し引いた数としているため、設問により有効回答数が異なることがある。また、集計の単位数も「人」「件」などが混在している。

1 調査票の記入者

調査票には本人が回答しているが、知的障害のある方では家族が回答しています。

○本調査に回答した人（以降「回答者」とする）では、回答全体としては「本人」が最も多く、49.7%を占めています。ただし障害別では、知的障害のある回答者の44.9%が「家族」と回答しています。

2 回答者の属性・障害の状況

【身体障害のある人】

○回答のあった身体障害のある人（n=42）は、回答全体の25.5%を占め、平均年齢は41.0歳です。

○手帳の等級では、1級（48.8%）が最も多く、障害の種類では、「手足が不自由」（66.7%）、視覚障害（23.1%）が上位に挙がっています。

【知的障害のある方】

○回答のあった知的障害のある人（n=89）は、回答全体の53.9%を占め、平均年齢は35.6歳です。

【精神障害のある方】

○回答のあった精神障害のある人（n=39）は、回答全体の23.6%を占め、平均年齢は47.1歳です。

○手帳の等級では2級（57.9%）が最も多くなっています。

図表1 回答者の属性・障害の状況・年齢

| | 回答数 構成比 | 等級別回答数および手帳種別構成比 | | | | | | 最年少 | 最高齢 | 平均年齢 |
|----------|---------------|------------------|---------------|----|---------------|----|---------------|-----|-----|------|
| | | 等級 | 回答数 構成比 | 等級 | 回答数 構成比 | 等級 | 回答数 構成比 | | | |
| 身体障害のある方 | 42 (25.5%) | 1級 | 20 (48.8%) | 2級 | 9 (22.0%) | 3級 | 5 (12.2%) | 4 | 75 | 41.0 |
| | | 4級 | 2 (4.9%) | 5級 | 4 (9.8%) | 6級 | 1 (2.4%) | | | |
| 知的障害のある方 | 89 (53.9%) | A | 43 (50.0%) | B | 43 (50.0%) | | | 4 | 78 | 35.6 |
| 精神障害のある方 | 39 (23.6%) | 1級 | 3 (7.9%) | 2級 | 22 (57.9%) | 3級 | 13 (34.2%) | 16 | 78 | 47.1 |

※複数種の手帳をお持ちの方について、該当する手帳種にそれぞれ計上した。

手帳種別を回答し、等級や年齢を回答していない方は構成比から除外して計算した。

3 現在の住まいと今後の住まいの希望について

現在の暮らし方については、各障害ともに「家族と暮らしている」を最上位に挙げています。

【身体障害のある方】

○現在の暮らし方については、「家族と暮らしている」が71.4%、「障害者施設で暮らしている」が14.3%となっています。

○今後の暮らし方の希望は、「家族と一緒に暮らしたい」(33.3%)を最上位に挙げています。

【知的障害のある方】

○現在の暮らし方については、「家族と暮らしている」が62.9%、「障害者施設で暮らしている」が19.1%、「グループホームで暮らしている」が14.6%となっています。

○今後の暮らし方の希望は、「家族と一緒に暮らしたい」(27.0%)を最上位に挙げています。

【精神障害のある方】

○現在の暮らし方については、「家族と暮らしている」が53.8%、「グループホームで暮らしている」が17.9%、「ひとりで暮らしている」が15.4%となっています。

○今後の暮らし方の希望は、「家族と一緒に暮らしたい」(33.3%)を最上位に挙げています。

図表2 現在の住まいと今後の住まいの希望について

| | 現在の暮らし方 | | 今後の暮らし方の希望 | |
|--------------------|---------|------------------------------|------------|-----------------------------|
| | 上位 | 回答数および構成比 | 上位 | 回答数および構成比 |
| 身体障害のある方 (n=42) | 1 | 家族と暮らしている 30 (71.4%) | 1 | 家族と一緒に暮らしたい 14 (33.3%) |
| | 2 | 障害者施設で暮らしている 6 (14.3%) | 2 | わからない 8 (19.0%) |
| | 3 | ひとりで暮らしている 3 (7.1%) | 3 | ひとりで暮らしたい 7 (16.7%) |
| 知的障害のある方 (n=89) | 1 | 家族と暮らしている 56 (62.9%) | 1 | 家族と一緒に暮らしたい 24 (27.0%) |
| | 2 | 障害者施設で暮らしている 17 (19.1%) | 2 | グループホームで暮らしたい 18 (20.2%) |
| | 3 | グループホームで暮らしている 13 (14.6%) | 3 | 障害者施設で暮らしたい 17 (19.1%) |
| 精神障害のある方 (n=39) | 1 | 家族と暮らしている 21 (53.8%) | 1 | 家族と一緒に暮らしたい 13 (33.3%) |
| | 2 | グループホームで暮らしている 7 (17.9%) | 2 | ひとりで暮らしたい 10 (25.6%) |
| | 3 | ひとりで暮らしている 6 (15.4%) | 3 | グループホームで暮らしたい 5 (12.8%) |

4 支援の必要なときについて

各障害ともに『身の回りの管理』に関する支援への意向が高いほか、知的障害のある方では『手段的日常生活動作』と『意思疎通』、精神障害のある方では『身の回りの管理』について、支援への意向が高くなっています。

【身体障害のある方】

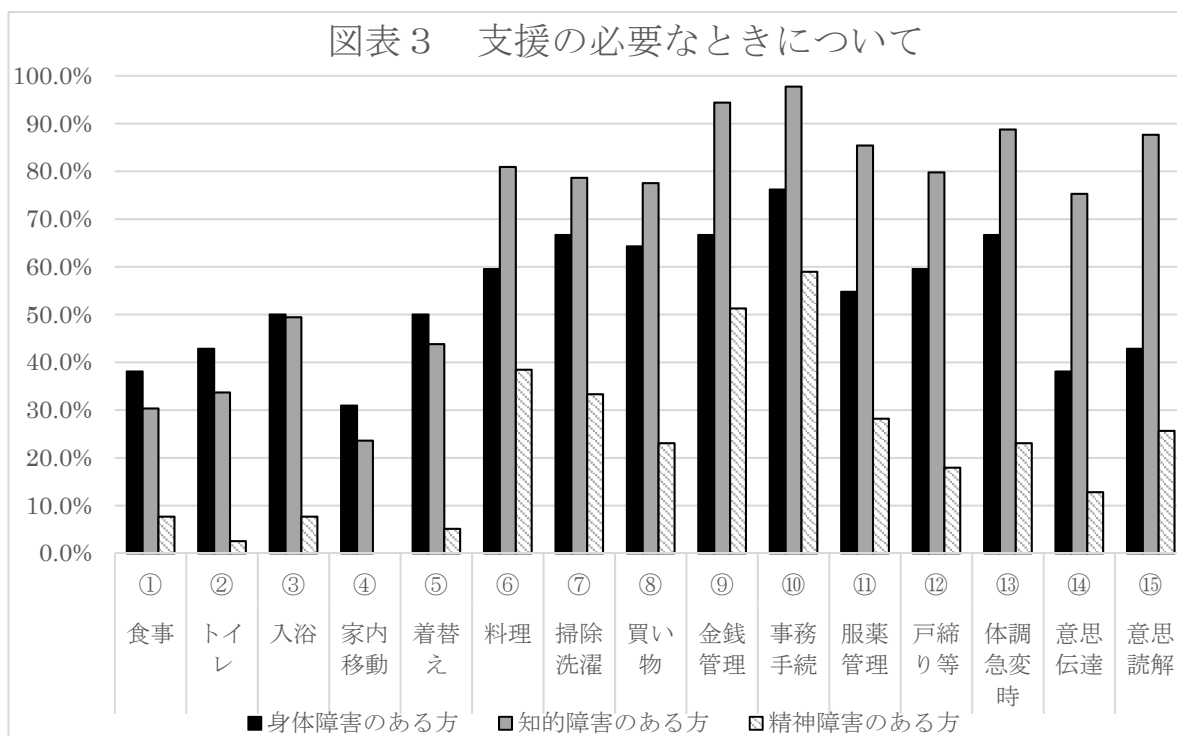
○必要な支援内容について、「部分的に」または「全面的に支援が必要」との回答は、『日常の暮らしに必要な事務手続き』(76.1%)、『掃除や洗濯をするとき』、『生活費など、お金の管理』、『病気やけが、体調急変時の連絡』(ともに66.6%)、『買い物をするとき』(64.2%)を上位に挙げています。

【知的障害のある方】

○必要な支援内容について、「部分的に」または「全面的に支援が必要」との回答は、『日常の暮らしに必要な事務手続き』(97.8%)、『生活費など、お金の管理』(94.4%)、『病気やけが、体調急変時の連絡』(88.8%)、『相手の意思を理解する』(87.7%)、『薬を飲んだり保管したりするとき』(85.4%)を上位に挙げています。

【精神障害のある方】

○必要な支援の内容について、「部分的に」または「全面的に支援が必要」との回答は、『日常の暮らしに必要な事務手続き』(58.9%)、『生活費など、お金の管理』(51.3%)、『料理をするとき』(38.4%)、『掃除や洗濯をするとき』(33.4%)、『薬を飲んだり保管したりするとき』(28.2%)を上位に挙げています。



※アンケートにて「部分的に支援が必要」または「全面的に支援が必要」と回答した方を合計し、有効回答数に対する割合を表示したものの。

5 日常生活における介護や手助けについて

介助を主にしている方については、各障害ともに「父母・祖父母・兄弟姉妹」、「ホームヘルパーや施設・病院の職員」の順となっています。

図表4 日常生活における介護や手助けについて

| | 日常生活における主な介助者 上位 回答数および構成比 | |
|--------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| | | |
| 身体障害のある方 (n=42) | 1 | 父母・祖父母・兄弟姉妹 18 (42.9%) |
| | 2 | ホームヘルパーや施設・病院の職員 16 (38.1%) |
| | 3 | 夫または妻 3 (7.1%) |
| 知的障害のある方 (n=89) | 1 | 父母・祖父母・兄弟姉妹 52 (58.4%) |
| | 2 | ホームヘルパーや施設・病院の職員 40 (44.9%) |
| | 3 | その他(学校の先生など) 3 (3.4%) |
| 精神障害のある方 (n=39) | 1 | 父母・祖父母・兄弟姉妹 16 (41.0%) |
| | 2 | ホームヘルパーや施設・病院の職員 8 (20.5%) |
| | 3 | 介助者はいない(介助の必要がない) 4 (10.3%) |

※主な介助者を1つまたは2つ回答する形式のため、合計が100%を超える場合がある

6 困っているときや不安なことについて

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについて、各障害ともに自身や家族の健康、将来の居場所、経済的なことを上位に上げています。

【身体障害のある方】

○現在の生活で困っていることや不安に思っていることについて、「自分の健康や体力に自信がない」(33.3%)、「十分な収入が得られない」、「家族など介助者の健康状態が不安」(ともに16.7%)、「将来にわたる生活の場や施設がない」(14.3%)を上位に挙げています。

○「特に困っていることや不安に思っていることはない」と回答した割合は38.1%となっています。

【知的障害のある方】

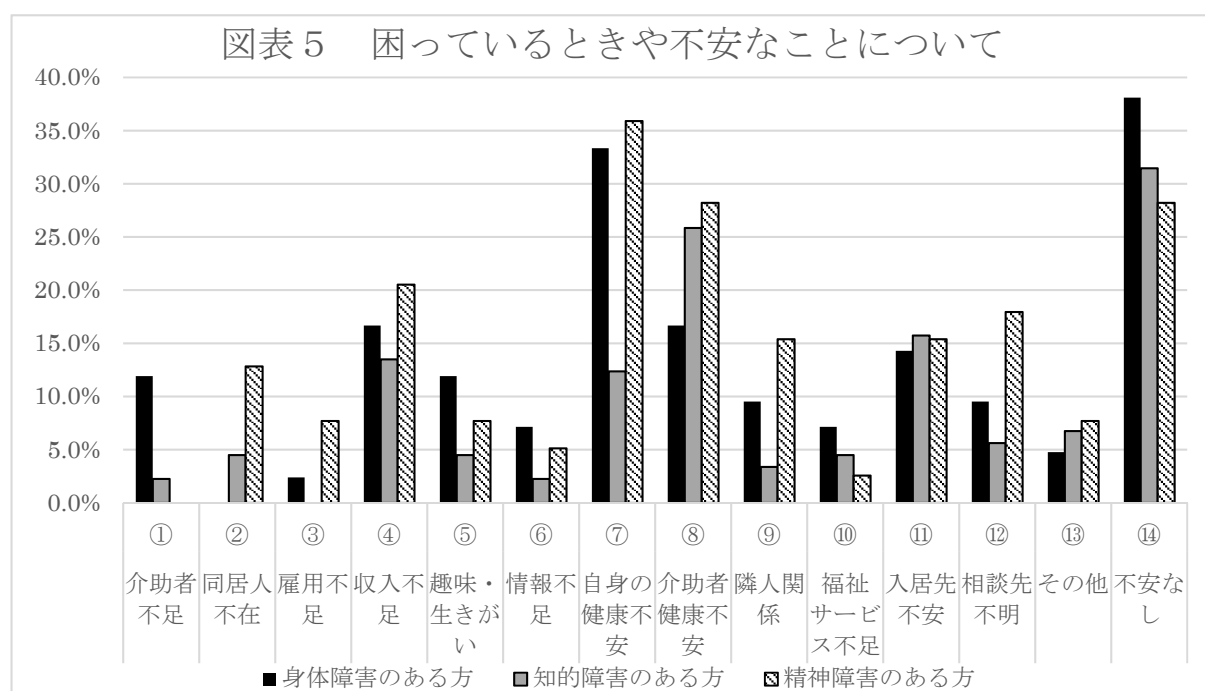
○現在の生活で困っていることや不安に思っていることについて、「家族など介助者の健康状態が不安」(25.8%)、「将来にわたる生活の場や施設がない」(15.7%)、「十分な収入が得られない」(13.5%)を上位に挙げています。

○「特に困っていることや不安に思っていることはない」と回答した割合は31.5%となっています。

【精神障害のある方】

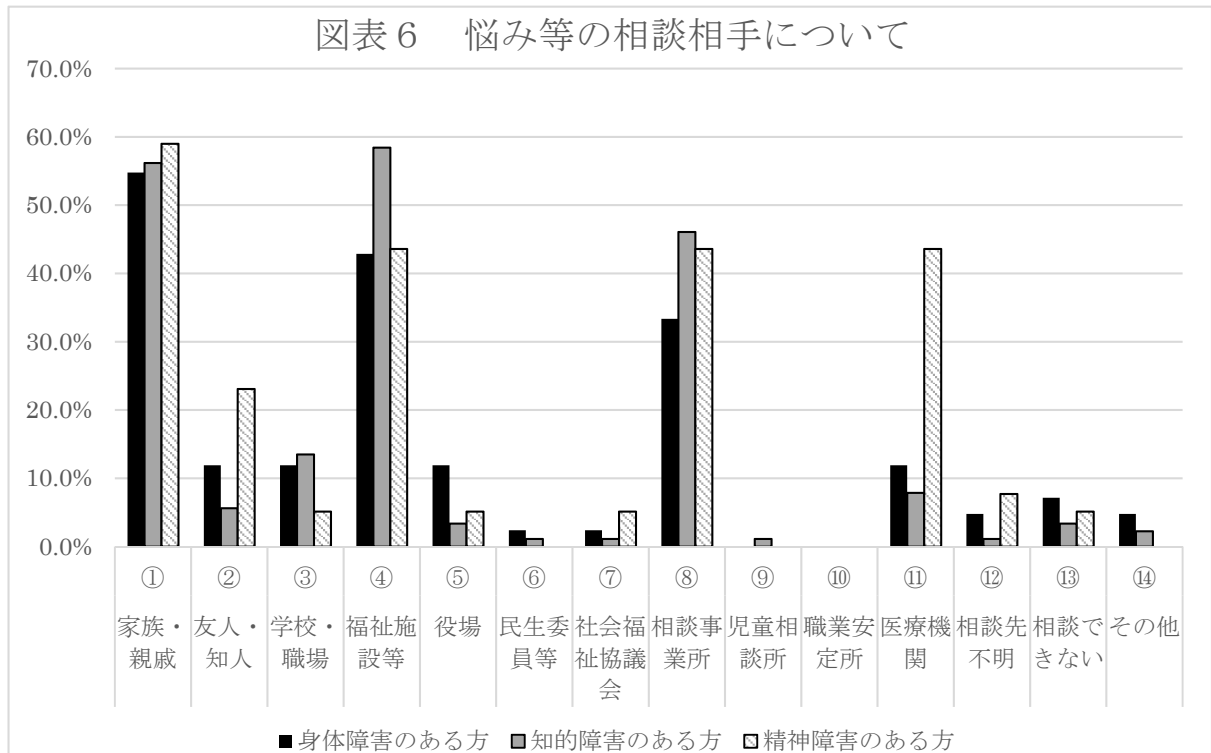
○現在の生活で困っていることや不安に思っていることについて、「自分の健康や体力に自信がない」(35.9%)、「家族など介助者の健康状態が不安」(28.2%)、「十分な収入が得られない」(20.5%)を上位に挙げています。

○「特に困っていることや不安に思っていることはない」と回答した割合は28.2%となっています。



7 悩み等の相談相手について

悩んでいることを相談する相手については、各障害ともに「家族・親戚」、「福祉施設・サービス事業所」、「相談支援事業所」を上位に挙げています。



8 必要と感ずる情報について

今、必要と感ずる情報については、各障害ともに社会福祉施設、障害年金や手当、相談場所の情報を上位に挙げています。

【身体障害のある方】

○必要と感ずる情報については、「社会福祉施設の情報」(28.6%)、「相談できる場所の情報」、「障害年金や障害手当などの情報」(ともに21.4%)、「ホームヘルパーなどの在宅サービスの情報」(19.0%)を上位に挙げています。

○「特になし」と回答した割合は33.3%となっています。

【知的障害のある方】

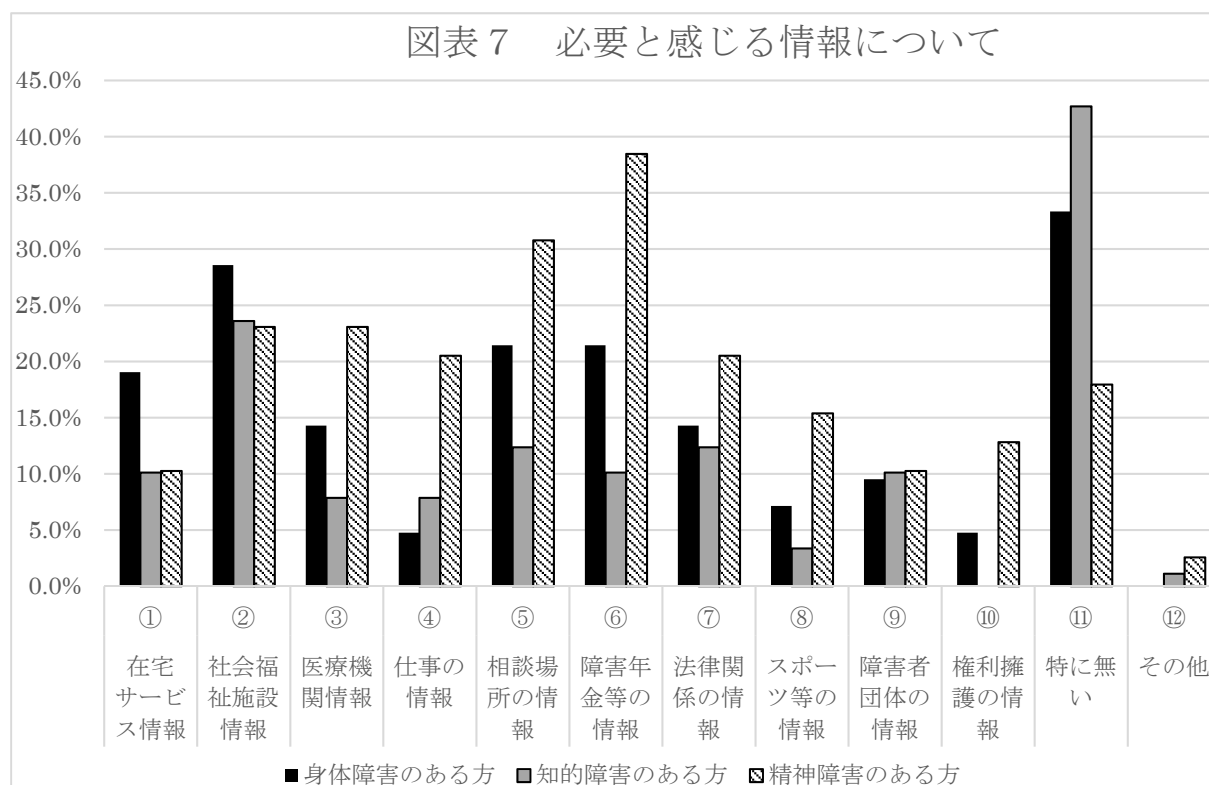
○必要と感ずる情報については、「社会福祉施設の情報」(23.6%)、「相談できる場所の情報」、「福祉に関する法律や政策などの情報」(ともに12.4%)、「ホームヘルパーなどの在宅サービスの情報」、「障害年金や障害手当などの情報」、「障害者(児)の団体の情報」(ともに10.1%)を上位に挙げています。

○「特になし」と回答した割合は42.7%となっています。

【精神障害のある方】

○必要と感ずる情報については、「障害年金や障害手当などの情報」(38.5%)、「相談できる場所の情報」(30.8%)、「社会福祉施設の情報」、「医療機関の情報」(ともに23.1%)を上位に挙げています。

○「特になし」と回答した割合は17.9%となっています。



9 障害福祉サービスを利用した経験・サービスを利用するときの心配について

障害福祉サービスの利用については、障害手帳所持者の74.7%、障害手帳を持たない方の45.5%が利用経験ありで、各障害ともに50%以上の人が希望どおりサービスを利用できていると回答しています。

【身体障害のある方】

- 障害福祉サービスを“*利用したことがある”割合は71.4%となっています。
- サービスを利用するときの心配について、「サービスにかかる料金などの経済的な負担が心配」(21.4%)「自分がどんなサービスを使えるのか、わからない」(19.0%)を上位に挙げています。
- 「特に心配はない」と回答した割合は35.7%となっています。

【知的障害のある方】

- 障害福祉サービスを“*利用したことがある”割合は78.7%となっています。
- サービスを利用するときの心配について、「自分がどんなサービスを使えるのか、わからない」(23.6%)、「どのようなサービスがあるのか、わからない」(20.2%)を上位に挙げています。
- 「特に心配はない」と回答した割合は33.7%となっています。

【精神障害のある方】

- 障害福祉サービスを“*利用したことがある”割合は82.1%となっています。
 - サービスを利用するときの心配について、「自分がどんなサービスを使えるのか、わからない」(33.3%)、「サービスにかかる料金などの経済的な負担が心配」(30.8%)を上位に挙げています。
 - 「特に心配はない」と回答した割合は25.6%となっています
- *利用したことがある：「障害福祉サービス」、「障害児へのサービス」、「相談支援・地域生活支援事業」のいずれかを利用していると回答した割合

図表8 障害福祉サービスを利用した経験、サービスを利用するときの心配について

| | 障害福祉サービスの利用経験 | 回答数および構成比 | 障害福祉サービスを利用するときの心配 | | |
|--------------------|---------------|------------|--------------------|----------------------|------------|
| | | | 上位 | 回答数および構成比 | |
| 身体障害のある方 (n=42) | 利用したことがある | 30 (71.4%) | 1 | サービスにかかる料金など経済的な負担 | 9 (21.4%) |
| | 障害福祉サービス | 26 (61.9%) | 2 | 自分がどんなサービスを使えるか分からない | 8 (19.0%) |
| | 障害児サービス | 5 (11.9%) | 3 | サービスを使うための方法や相談の仕方 | 5 (11.9%) |
| | 相談支援・地域生活支援事業 | 9 (21.4%) | 4 | 病気やけが、体調急変時の対応 | 5 (11.9%) |
| | 利用したことはない | 6 (14.3%) | 心配はない | | 15 (35.7%) |
| 知的障害のある方 (n=89) | 利用したことがある | 70 (78.7%) | 1 | 自分がどんなサービスを使えるかわからない | 21 (23.6%) |
| | 障害福祉サービス | 49 (55.1%) | 2 | どのようなサービスがあるのか分からない | 18 (20.2%) |
| | 障害児サービス | 12 (13.5%) | 3 | 病気やけが、体調急変時の対応 | 14 (15.7%) |
| | 相談支援・地域生活支援事業 | 36 (40.4%) | 4 | サービスにかかる料金など経済的な負担 | 14 (15.0%) |
| | 利用したことはない | 9 (10.1%) | 心配はない | | 30 (33.7%) |
| 精神障害のある方 (n=39) | 利用したことがある | 32 (82.1%) | 1 | 自分がどんなサービスを使えるか分からない | 13 (33.3%) |
| | 障害福祉サービス | 22 (56.4%) | 2 | サービスにかかる料金などの経済的な負担 | 12 (30.8%) |
| | 障害児サービス | 2 (5.1%) | 3 | 病気やけが、体調急変時の対応 | 9 (23.1%) |
| | 相談支援・地域生活支援事業 | 16 (41.0%) | 4 | どのようなサービスがあるのか分からない | 8 (20.5%) |
| | 利用したことはない | 5 (12.8%) | 心配はない | | 10 (25.6%) |

外出の頻度は障害の種類によって様々ですが、「友人・知人に会う」、「趣味やスポーツをする」といった目的での外出機会は障害の種類にかかわらず少なく、「買物」、「外食」、「旅行」を楽しみにしています。

【身体障害のある方】

- 外出の頻度について、通勤・通学・通所では「週4日以上」(52.4%)、医療機関への通院・リハビリでは「月に1日」(50.0%)、日常の買物では「週1日」(19.0%)、友人・知人に会うでは「年に数日」(16.7%)、趣味やスポーツをするでは「週4日以上」(16.7%)がそれぞれ最も高くなっています。
- 「外出しない」と回答した割合を比較すると、「友人・知人に会う」、「趣味やスポーツをする」(ともに42.9%)は、他の外出よりも機会が特に少ない状況がみられます。
- 楽しみにしている外出については、「買物」(45.2%)、「外食」(40.5%)、「旅行」(38.1%)を上位に挙げています。

【知的障害のある方】

- 外出の頻度について、通勤・通学・通所では「週4日以上」(65.2%)、医療機関への通院・リハビリでは「年に数日」(38.2%)、日常の買物では「週に1日」(27.0%)、友人・知人に会うでは「年に数日」(15.7%)、趣味やスポーツをするでは「週に4日以上」(13.5%)がそれぞれ最も高くなっています。
- 「外出しない」と回答した割合を比較すると、「趣味やスポーツをする」(40.4%)、「友人・知人に会う」(39.3%)は、他の外出よりも機会が特に少ない状況がみられます。
- 楽しみにしている外出については、「買物」(50.6%)、「外食」(47.2%)、「旅行」(37.1%)を上位に挙げています。

【精神障害のある方】

- 外出の頻度について、通勤・通学・通所では「週4日以上」(38.5%)、医療機関への通院・リハビリでは「月に1日」(41.0%)、日常の買物では「週に2,3日」(35.9%)、友人・知人に会うでは「年に数日」(12.8%)、趣味やスポーツをするでは「週に4日以上」(17.9%)がそれぞれ最も高くなっています。
- 「外出しない」と回答した割合を比較すると、「友人・知人に会う」、「趣味やスポーツをする」(ともに33.3%)は、他の外出よりも機会が特に少ない状況がみられます。
- 楽しみにしている外出については、「買物」(53.8%)、「外食」(48.7%)、「映画」(43.6%)を上位に挙げています。

図表9 外出について

| それぞれの状況における外出頻度 | | | | | | | 楽しみにしている 外出 |
|------------------------|---|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------|
| 上位 回答数および構成比 | | | | | | | |
| | | 通勤・通 学・通所 | 医療機関 への通院 等 | 日常の買 い物 | 友人・知 人に会う | 趣味やス ポーツ | |
| 身体障害 のある方 (n=42) | 1 | 週4日以上 22 (52.4%) | 月1日 21 (50.0%) | 外出しない 9 (21.4%) | 外出しない 18 (42.9%) | 外出しない 18 (42.9%) | 買物 19 (45.2%) |
| | 2 | 週2,3日 5 (11.9%) | 年数日 12 (28.6%) | 週1日 8 (19.0%) | 年数日 7 (16.7%) | 週4日以上 7 (16.7%) | 外食 17 (40.5%) |
| | 3 | 外出しない 5 (11.9%) | 月2,3日 2 (4.8%) | 週2,3日 6 (14.3%) | 週2,3日 5 (11.9%) | 週2,3日 4 (9.5%) | 旅行 16 (38.1%) |
| 知的障害 のある方 (n=89) | 1 | 週4日以上 58 (65.2%) | 年数日 34 (38.2%) | 週1日 24 (27.0%) | 外出しない 35 (39.3%) | 外出しない 36 (40.4%) | 買物 45 (50.6%) |
| | 2 | 外出しない 9 (10.1%) | 月1日 29 (32.6%) | 週2,3日 18 (20.2%) | 年数日 14 (15.7%) | 週4日以上 12 (13.5%) | 外食 42 (47.2%) |
| | 3 | 週2,3日 7 (7.9%) | 月2,3日 15 (16.9%) | 月1日 12 (13.5%) | 週4日以上 13 (14.6%) | 年数日 11 (12.4%) | 旅行 33 (37.1%) |
| 精神障害 のある方 (n=39) | 1 | 週4日以上 15 (38.5%) | 月1日 16 (41.0%) | 週2,3日 14 (35.9%) | 外出しない 13 (33.3%) | 外出しない 13 (33.3%) | 外食 21 (53.8%) |
| | 2 | 週2,3日 7 (17.9%) | 月2,3日 13 (33.3%) | 週4日以上 9 (23.1%) | 年数日 5 (12.8%) | 週4日以上 72 (17.9%) | 買物 19 (48.7%) |
| | 3 | 月2,3日 5 (12.8%) | 週4日以上 2 (5.1%) | 週1日 5 (12.8%) | 週4日以上 4 (10.3%) | 週2,3日 4 (10.3%) | 映画 17 (43.6%) |

※それぞれの状況における外出頻度については、最も多いものを択一で回答としている。

楽しみにしている外出については、該当するもの全ての複数回答としている。

網掛け表示については、外出頻度が「週4日以上」または「週2,3日」の箇所（高頻度）

太字表示については、外出頻度が「外出しない」または「年数日」の箇所（低頻度）

1 1 放課後等デイサービスについて

18歳未満（令和2年4月1日現在）の方（n=28）にうかがった、放課後や休業日に児童をあずかる放課後等デイサービスについては、「放課後等デイサービスに通っている。または、通っていた」と「小学校・小学部へ入学したら利用したい」の回答は合計64.3%、「希望しない。または、希望しなかった」と「放課後等デイサービスを知らない」の回答は合計35.7%となっています。

図表10 放課後等デイサービスについて

| | 放課後等デイサービスに通っている、または通っていた | 小学校・小学部へ入学したら利用したい | 希望しない、または希望しなかった | 放課後等デイサービスを知らない |
|--------------------|---------------------------|--------------------|------------------|-----------------|
| 全体の回答 (n=28) | 13 (46.4%) | 5 (17.9%) | 4 (14.3%) | 6 (21.4%) |
| 身体障害のある方 (n=11) | 4 (36.4%) | 3 (27.3%) | 2 (18.2%) | 2 (18.2%) |
| 知的障害のある方 (n=16) | 10 (62.5%) | 2 (12.5%) | 2 (12.5%) | 0 (0.0%) |
| 精神障害のある方 (n=1) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |

1 2 学齢期に必要なと思う支援について

18歳未満（令和2年4月1日現在）の方（n=28）にうかがった、学齢期の支援として職業、社会生活、日常生活に必要な知識や技術についての訓練を必要な支援の上位に挙げています。

○学齢期に必要なと思う支援については、「社会生活を送る上で円滑な人間関係を維持する訓練」(59.3%)、「特性や課題に応じた学習支援」(55.6%)、「職業訓練」、「移動や買い物など、日常生活に必要な行動の訓練」(ともに44.4%)を上位に挙げています。

図表11 学齢期に必要なと思う支援について

| | 特性や課題に応じた学習支援 | 職業訓練 (職場体験・実習の場) | 円滑な人間関係を維持する訓練 | 日常生活に必要な行動の訓練 | 心身の健康管理 | 仲間・友人作り | その他 |
|--------------------|---------------|---------------------|----------------|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 全体の回答 (n=27) | 15 (55.6%) | 12 (44.4%) | 16 (59.3%) | 12 (44.4%) | 8 (29.6%) | 2 (7.4%) | 2 (7.4%) |
| 身体障害のある方 (n=11) | 5 (45.5%) | 4 (36.4%) | 3 (27.3%) | 5 (45.5%) | 5 (45.5%) | 1 (9.1%) | 0 (0.0%) |
| 知的障害のある方 (n=16) | 9 (56.3%) | 6 (37.5%) | 10 (62.5%) | 7 (43.8%) | 4 (25.0%) | 1 (6.3%) | 1 (6.3%) |
| 精神障害のある方 (n=1) | 0 (0.0%) | 1 (100.0%) | 1 (100.0%) | 0 (0.0%) | 1 (100.0%) | 0 (0.0%) | 0 (0.0%) |

※主なものを3つまで回答する形式のため、合計が100%を超える場合がある。
また、全体の回答について無回答が1人いたため、有効回答数から除外した。

13 仕事について

仕事をするために必要な配慮については、職場内での障害への理解や働き方の柔軟な対応を挙げています。

【身体障害のある方】

○仕事の有無について、「している」と回答した割合は21.4%、「していない」と回答した割合は61.9%となっています。

○仕事をするために必要な配慮については、「障害状況にあわせ、働き方が柔軟であること」(63.6%)を最上位に挙げています。

【知的障害のある方】

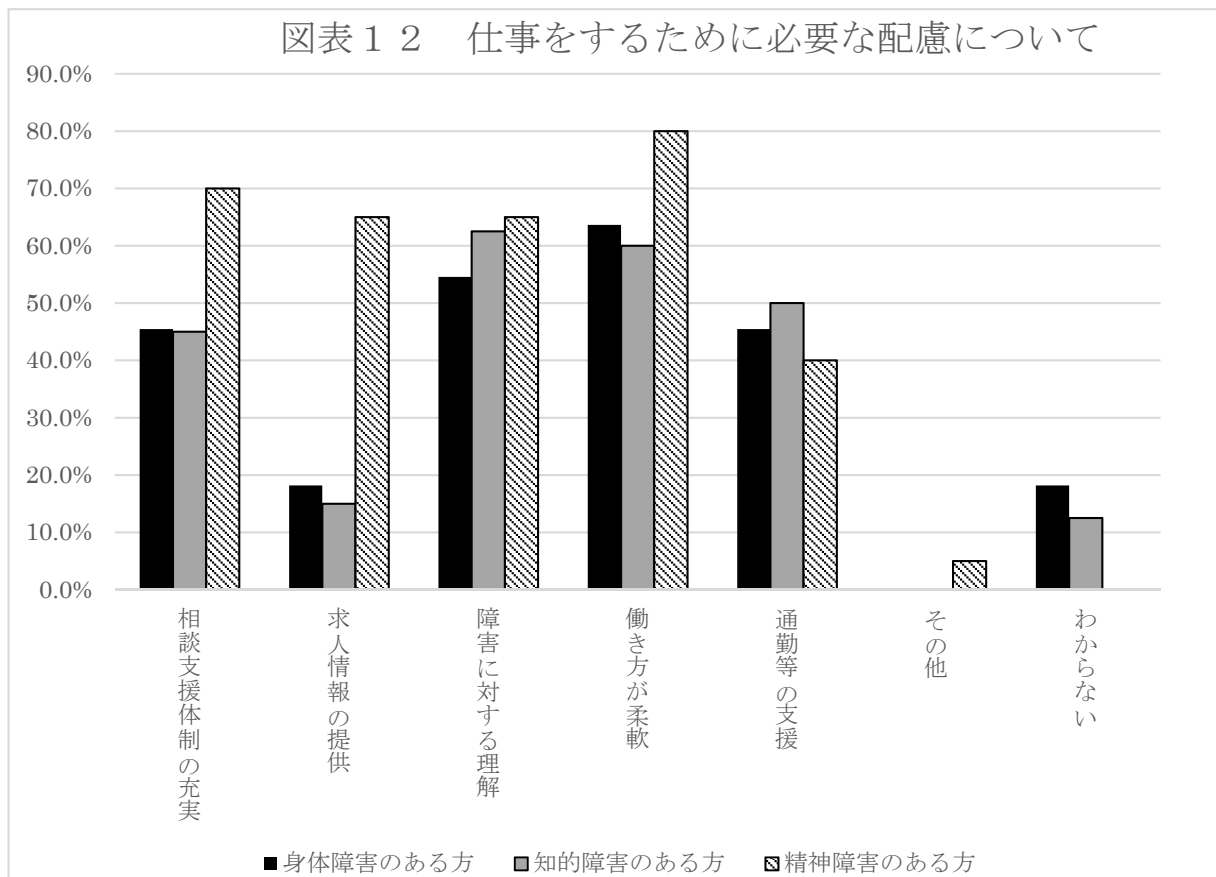
○仕事の有無について、「している」と回答した割合は36.0%、「していない」と回答した割合は49.4%となっています。

○仕事をするために必要な配慮については、「職場内で、障害に対する理解があること」(62.5%)を最上位に挙げています。

【精神障害のある方】

○仕事の有無について、「している」と回答した割合は46.2%、「していない」と回答した割合は48.7%となっています。

○仕事をするために必要な配慮については、「障害状況にあわせ、働き方が柔軟であること」(80.0%)を最上位に挙げています。



1 4 権利擁護について

成年後見制度については、回答者全体の結果として、「名前も内容も知らない」(53.4%)、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(28.8%)、「名前も内容も知っている」(17.8%)の順となっています。

現在利用している人は4.1%、今後の利用については、「わからない」(63.7%)、「利用したい」(18.5%)、「利用の予定はない」(17.8%)の順となっています。

図表 1 3 - 1 成年後見制度の周知状況について

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------------|-----|-------|
| 名前も内容も知っている | 26 | 17.8% |
| 名前は聞いたことがあるが内容は知らない | 42 | 28.8% |
| 名前も内容も知らない | 78 | 53.4% |

図表 1 3 - 2 成年後見制度の利用状況について

| | 回答数 | 構成比 |
|---------|-----|-------|
| 利用している | 6 | 4.1% |
| 利用していない | 140 | 95.9% |

図表 1 3 - 3 成年後見制度の今後の利用意向について

| | 回答数 | 構成比 |
|----------|-----|-------|
| 利用したい | 27 | 18.5% |
| 利用の予定は無い | 26 | 17.8% |
| わからない | 93 | 63.7% |

15 特に力を入れてほしい取り組みについて

各障害の方ともに、「障害に対する理解を深める取り組み」、「生活の安定のための年金や手当の充実」を上位に挙げています。

【身体障害のある方】

○身体障害のある人の特に力を入れてほしい取り組みについては、「障害に対する理解を深める取り組み」、「生活の安定のための年金や手当の充実」（ともに 52.4%）、「情報を入手しやすい環境」、「災害時の避難や支援」（ともに 45.2%）、「相談窓口の使いやすさ」、「障害者の人権や権利を守る取り組み」（ともに 40.5%）を上位に挙げています。

【知的障害のある方】

○知的障害のある人の特に力を入れてほしい取り組みについては、「障害に対する理解を深める取り組み」（52.8%）、「災害時の避難や支援」（36.0%）、「病気やけが、体調急変の時の支援」（33.7%）を上位に挙げています。

【精神障害のある方】

○精神障害のある人の特に力を入れてほしい取り組みについては、「生活の安定のための年金や手当の充実」（69.2%）、「障害に対する理解を深める取り組み」（66.7%）、「障害者の人権や権利を守る取り組み」（51.3%）を上位に挙げています。

